

教育委員会
だより

伊田小学校
『いのちを輝かす〜結〜』
― 共生・共学・共育 ―
校長 前田 浩文

◆はじめに

本校の今年度の児童数は、8人(男子3人、女子5人)です。学級数は4年生の単式学級と5・6年生の複式学級の2学級編成です。

児童数の減少に伴い、平成26年度より上川口小学校との統合が決定しています。明治6年、「伊田小学校」の名称で開設されて以来、営々と築かれてきた伊田小学校の歴史に幕を閉じることとなります。来年度の統合を見据え、子どもたちが安心して学校生活を送れるように、取り組みを進めています。

◆教育目標

『いのちを輝かす〜結〜』
共生・共学・共育と設定しています。

ともに生き、ともに学び、ともに育ちあう中で、自信や

信頼を高め、生きることの喜びを感じ、生きる力を育むことを目指しています。

この目標に向かって、私たちは、研究テーマとして『つかむ・ねる・うむ』『主体的な学びの創造』『複式・少人数授業をしくむ』を掲げ、次のことに取り組んでいます。

①学力向上(授業の工夫改善)

先進的な取り組みに学ぶために、高知大学附属小学校の先生を講師に招いて模擬授業をしてもらったり、西部教育事務所の指導主事に授業づくりについての指導・助言を仰いだりして、複式・少人数授業の工夫改善に努めています。例えば、書画カメラやデジタル教材、テレビ会議など、ICTを効果的に活用しながら、より楽しく分かる授業づくりに努めています。



テレビ会議

近い将来、タブレット端末を使用したデジタル教科書での授業が行われるようになります。それを見越しながら

ら、私たち教師の情報ツール活用能力を高めています。

平成25年度標準学力調査
(全国を1とする)

	4年	5年
国語	0.99	1.11
算数	1.00	1.10

授業改善につながる資料として活用しています。

上の表は、

②豊かな心(生き方に学ぶ)



道徳参観日

道徳教育参観日・人權教育参観日・キャリア教育参観日・いきいき子育て集会など、講師を招いて講演会を開くことを通して、人としての生き方について学んでいます。

る活動をとりいれて基礎体力の向上に努めています。

④防災教育(毎週の避難訓練)

年間3回の避難訓練に加え、毎週金曜日の朝に体力づくりも兼ねて避難訓練を行っています。



体育朝会

ます。また、黒潮町総合防災訓練に参加し、地域の消防団の皆さんの協力を得て、簡易担架づくりや怪我

の応急手当などの訓練を実施しています。

⑤PTCA活動(地域連携)

本校最後の年度ですが、PTA活動を、地域の代表者(Community)を加えたPTCA活動としてスタート。学校を最後に盛り上げようと、保護者と地域代表者、そして学校が連携し行事などの企画運営に当たっています。

9月には、運動会を地域合同で開催。地区対抗種目も取り入れ、約200人の参加にぎやかに行いました。また、「ふれあいのわ推進委員会」(開かれた学校づく



運動会



トーク&コンサート

り推進委員会の主催で実施した「いきいき子育て集会」は、地域で活躍しているフオークソングバンドを招いて、トーク&コンサートを開きました。参加した約80人の校歌の大合唱が会場に響き渡りました。

一つひとつの取り組みの終わりをしっかりと「結び」、そして、新たな出会いを「結び」ため一歩を刻んでいきたいと思えます。

大方中学校

『ひとりとはみんなのために、
みんなはひとりのために』

校長 島田 義富

◆はじめに

本校は、学級数8組、生徒数191人、教職員数23人で、教育目標に『心豊かで、たくましく、意欲をもって学ぶ生徒の育成』も仲間も大切に『』を掲げ、日々の教育活動に取り組んでいます。

大方地区は、保護者や地域の方々が、子どもたちのためになることは、積極的に取り組んでいこうとする風土があり、教育活動にも協力的です。より良い子どもたちの成長を強く望んでおり、教育に対して関心が強い地域です。

こうした教育風土のもと、本校でも、生徒一人ひとりが大切にされ、明るくのびのびと過ごせ、それぞれの夢や目標に向かってしっかりと頑張れる学校を目指し、「集団づくり」と「学力向上」を大きな柱として、日々取り組んでいます。その中のいくつかの取り組みを紹介します。

◆2つの指定事業

①学力向上プロジェクト

『確かな学力の育成』という目標を掲げ、今年度もこの指定事業に取り組んでいます。ただ、本校の現在の学力の状況は左記の表のようになっており、厳しい状況があります。

学力の基本となるのは、日々の授業と家庭学習だと考えています。5教科の授業では授業の初めに5分程度の形成テストを導入し、学力の定着を図るようにしています。家庭学習では形成テストの内容を中心に学習することで成果につなげることができるようになり、さらに形成テストの内容が単元や期末テストに反映されることで学力向上が図られるようにしています。

平成25年度標準学力調査 (全国を1とする)

	国語	数学	英語	理科	社会
1年	1.01	1.04		0.99	0.83
2年	1.11	0.91	0.92	0.97	0.95
3年			0.78	0.91	0.81

②ことばの力育成プロジェクト

昨年度までの3年間県の指定を受け学校図書館教育推進校として取り組みを進めてきました。その中の読書活動の推進が成果として評価され、4月には文部科学大臣賞を受賞することができました。

今年度からは、これまでの活動をさらに発展させるべく、ことばの力育成プロジェクト推進校としての指定を受け、取り組みを開始しています。具体的には、学校図書館や図書を活用した授業や新聞を活用した学習活動などを取り入れることによって、国語を中心とする学力向上や思考力・判断力・表現力の向上を目指すことになっています。

こうした取り組みの継続が、上の表でもわかるように国語の学力向上にもつながっています。さらに税の作文コンクールでの県知事賞や県朗読コンクールでの県教育長賞をはじめとするたくさんの方からの文化面での表彰を受けたことも、こうした取り組みの成果であると思えます。



調べ学習の授業

◆生徒会・元気会の活動

今年度も、生徒会執行部が中心となって、さまざまな取り組みを行って来ています。4月の対面式の場での決意表明に始まり、毎朝の「あいさつ運動」、授業への取り組みアップを狙った「1分前行動」、行事を花で飾るための「フラワープロジェクト」などなど、生徒会目標の『One for All All for One』ひとはみんなのために、みんなはひとりのために』を達成するために、常に企画・立案し、とても頑張ってくれています。

また、有志によるボランティア活動を行う「元気会」へも、60人の生徒が会員として加入し、さまざまな活動をしてきています。砂浜清掃、衛生食品検査、誠心園まつり手伝い、小学校への学習支援などなど、自主的な活動で地域への貢献ができています。



砂浜清掃では、新藤総務大臣(中央)との思いがけない出会いもありました。

◆部活動

今年度の部活動は、3年生を中心に大活躍をし、本校の歴史に輝かしい1ページを刻みました。3月の剣道部女子団体の四国大会優勝を皮切りに、県総体でも剣道部女子団体と男子個人が優勝し、四国大会・全国大会に出場しました。さらにバレー部は、県内のすべての大会で優勝し、四国大会でも3位という好成績を上げました。そして、サッカーでは、全日本ユースの代表選手が出て、アジア予選で活躍するなど、学校全体に勇気と感動を与えてくれました。

また、唯一の文化部の吹奏楽部も、保育所や誠心園での訪問演奏、さらにはねりんピックの開閉会式の演奏を務めるなど、高く評価できる活動を行って来ました。



大活躍した剣道部とバレー部